



水中ビデオカメラによる動画撮影

水の中を自在に移動可能な水中ビデオカメラを用いた動画撮影により、様々な確認調査業務を支援いたします。

水処理槽、海、河川等の確認調査業務支援

水の中を自在に移動可能な水中ビデオカメラで的確な撮影ポイントから撮影することにより、

① 水処理槽内の機器類の腐食状況および壁面のひび割れ状況

② 海、湖、河川等における生物生息状況

等の確認調査業務を支援いたします。

- ・ 鮮明化装置(暗所、濁り等の補正)を併用した撮影または画像処理も可能です。
- ・ 多項目水質センサ(pH、DO、水温、電気伝導度、濁度等)を取り付けて、水質計測を行いながら撮影することもできます。

お気軽にご相談ください。* 水が著しく濁っている場合等、撮影困難なケースもあり得ます。

水中ビデオカメラ

● 主な仕様

耐圧水深※	75m
カメラ(チルト不可)前方	1台
カメラ解像度	H420本
外部出力付き(RCA、音声なし)	3ポート
最低被写体照度	0.3ルクス

※中性浮力ケーブル40mのため撮影水深は40m

ライト(ハロゲンランプ)	20W/2灯
消費電力	300W
最大速度	1.9ノット
サイズ(本体)	L305mm × W230mm × H210mm
重量(本体)	3.6kg
標準装備品	本体、コントローラ、7インチ液晶モニタ、収納ケース

● 撮影機材一式



● 水中ビデオカメラ本体



防火水槽の撮影例



藻に覆われたコンクリート壁面の画像



小魚の群れ(黄色いケーブルは中性浮力ケーブル)



JFE テクノリサーチ 株式会社

<https://www.jfe-tec.co.jp>

0120-643-777

Copyright ©2019 JFE Techno-Research Corporation. All Rights Reserved.
本資料の無断複製・転載・webサイトへのアップロード等はおやめ下さい。